

科目区分：教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）

授業科目名：初等音楽

対象年次：2年次～（7名受講）

初等音楽

音楽教育講座・安積京子

1. 授業の目的と到達目標

本授業は、小学校教員として身につけておくべき音楽表現の基本的な技術を修得することを目的としている。到達目標は、以下の2つである。①小学校教科書掲載程度の楽曲のピアノ伴奏および弾き歌いができる。②音楽を愛好する心を演奏を通じて表現できる。

今期の「初等音楽」は幼年教育コース1名、小学校サブコース6名が受講した。ピアノ初心者は1名いたが、6名は経験者であり、ピアノ奏法に関する基礎的な知識および技能を習得しているため、更に演奏能力を高めることを目標とした。

2. 授業の概要について

本授業は、教育学部の全コースの学生を対象に開講されている。受講生は、文部科学省が指定している25曲の小学校歌唱共通教材から興味のある楽曲を毎回1～2曲選び、弾き歌いの個人レッスンを受ける。7曲以上の修得を単位認定の条件としている。

その他、音楽理論について学び、小学校で歌われる合唱曲や打楽器によるアンサンブル、ピアノ連弾などを体験する。

3. 関連するディプロマポリシー

1) 教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。(知識・理解)

2) 教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。(思考・判断・表現)

4. 授業の課題について

以下に受講生が選択した課題の一部を記す。

○弾き歌い

ふるさと・もみじ・春の小川・夕やけこやけ・うさぎ・虫の声・冬げしき・おぼろ月夜

○合唱曲

夢の世界を、Believe、旅立ち

○打楽器アンサンブル曲

さんぽ、きよしこの夜、大きな古時計、

All I Want For Christmas Is You

○ピアノ連弾曲

チョップスティック

5. 指導上のポイント

1) 課題曲選曲に関して

ピアノの習熟度に応じて、簡易伴奏・本伴奏の楽譜を選択させ、更に個々の学生に適したアレンジ伴奏も用意しアドバイスをを行った。

2) 弾き歌いの指導に関して

○楽曲のデュナーミク、テンポ、表情記号など楽譜に示された音楽情報を正確に読み取り表現することを指導した。

○運指はピアノ奏法の基礎となるものであるため、譜読みの段階から最も適した指使いを選択できるよう細心の注意を払った。

○歌声に調和する美しいピアノの響きを得るために、ペダルの使用を推奨し、ペダルを踏む箇所を楽譜上に丁寧に記した。

○フレーズを大切にし、歌声の自然な流れに沿って、ピアノ伴奏のテンポ・ルバートの加減を吟味させた。

○音楽の三要素の一つである重要なリズム感を養うため、毎回授業の始めに簡単なリズム練習を行った。

○日本の主な音階（民謡音階・都節音階・律音階・沖縄音階等）と、西洋の音階との違いを理解させた上で、日本古謡（こもり歌、さくらさくら等）の弾き歌いをさせた。

○コードネームを用いた伴奏法を指導した。

○楽曲の理解を深めるため、古語で書かれた詩の内容を調べさせ、レポートを提出させた。

○受講生の練習するモチベーションを高めるため、最終回には、ミニ模擬授業および弾き歌いの発表会を実施した。

6. 授業アンケート

本授業終了時に、受講者7名を対象に無記名方式で、下記の7項目の4段階評価によるアンケートを実施した。また自由記述も併用した。

1) 集計結果について

1.本授業に興味を持ち積極的に参加出来たか。

出来た 6名

どちらかといえば出来た 1名

どちらかといえば出来なかった 0名

出来なかった 0名

2.本授業のための準備は毎回充分であったか。

充分であった 2名

どちらかといえば充分であった 3名

どちらかといえば充分でなかった 2名

充分でなかった 0名

3.出席状況は良好であったか。

良好であった 6名

どちらかといえば良好であった 1名

どちらかといえば良好でなかった 0名

良好でなかった 0名

4.授業の難易度は適切であったか。

適切であった 6名

どちらかといえば適切であった 1名

どちらかといえば適切でなかった 0名

適切でなかった 0名

5.授業中は良好な雰囲気が保たれていたと思うか。

そう思う 7名

どちらかといえばそう思う 0名

どちらかといえばそう思わない 0名

そう思わない 0名

6.受講後、新しい専門知識や演奏技術を得ることができたと思うか。

そう思う 7名

どちらかといえばそう思う 0名

どちらかといえばそう思わない 0名

そう思わない 0名

7.本授業を受講したことが、今後の学習に有意義であると思われるか。

そう思う 7名

どちらかといえばそう思う 0名

どちらかといえばそう思わない 0名

そう思わない 0名

8.本授業で良かった点（自由記述より抜粋）

○実際に小学校で歌う曲について、音楽の知識を深められたこと。

○1対1のレッスンでより良い演奏ができるアドバイスをいただけたこと。

○少人数で和やかな雰囲気ですごく楽しかった。

9.本授業で改善すべき点（自由記述より抜粋）

○他の人の演奏を聴く機会がたくさんあると良いと思った。

○個人レッスンは、最初の方が時間を取りすぎて後半の人の時間が短くなったこと。

○レッスン時間が人によって違いがあったのが気になった。

2) アンケート結果のまとめ

授業外学習時間は週平均3.5時間であった。ばらつきがあり、6時間練習する学生と1時間する学生がいた。授業準備に関しては、どちらかといえば充分であったと回答する学生が多かった。授業課題の難易度はほぼ適切であり、全員が受講後、新しい専門知識や演奏技術を得ることができ、また今後の学習に有意義であったと回答している。

7. まとめ

授業に興味を持たせるため、受講生の希望を聞いて、合唱曲や打楽器アンサンブル曲を選曲した。毎回授業の冒頭で実施した初見のリズム練習は、始めに手拍子でリズムを取らせ、またそのリズムをピアノで再現させたり、各自好きな打楽器で演奏させたり、同時にアンサンブルも楽しめるよう工夫を凝らした。

今期は、ピアノ初心者の学生が一人いたが、真面目で大変熱心に練習し、驚くことに11曲の弾き歌い楽曲を修得した。指導者としては大変嬉しくやりがいを感じた。

今後は個々の受講生の習熟度に応じて適切なサポートを行うと同時に、本アンケートの改善すべき点で指摘された、個人レッスンの均等な時間配分方法について検討したい。